### はじめに

本文書に記す Linux のインストール手順は、初心者がまず Linux を使える環境を持つことを目的とした、最小限の設定を行うものです。また、部分的には、岐阜経済大学井戸研究室の所属学生に向けた内容を含みます。

実際の作業全体は、次の手順で行います。

- (1) Windows のデータのバックアップ作成
- (2) Windows のディスクパーティションの変更
- (3) Linux のインストール

本文書は、(2)のLinuxインストールの手順を示すものです。

### 諸条件

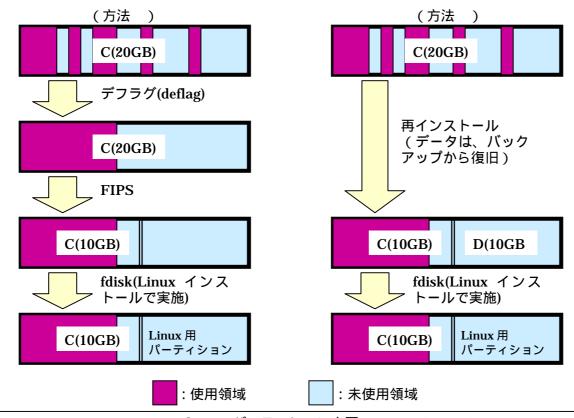
- (1) ソフトウェア: · Windows は、Windows98 (Me や XP でもほぼ同様です)
- (2)ハードウェア
  - ・PC は CD ドライブを内臓
  - ・PC の起動時に、[F12]押下により起動ディスクの選択が可能

(そうでない場合、BIOSの設定により、起動ディスクの順序を変更する必要があります)また、本マニュアルは、富士通のノート PC (FMV-675NU9/L)を用いた場合を想定して、画面イメージを作成しています。さまざまな PC では、若干異なる点があるかと思いますが、基本的には同じ操作となるはずです。

## 基本的な流れ

本マニュアルでは、次の2つの方法を想定しています。

- ·(方法 ) Windows の再インストールを行わない。
- ·(方法 ) Windows の再インストールを行う。



FIPS はフリーソフトで、Linux のインストール CD に付属しています。うまく行くのであれば、上記 の(方法)の方が望ましいわけですが、次の2つの問題があります。

- ・ Windows のデフラグでは、移動させられない使用領域がある場合がある。
- FIPS は、初心者が手軽に間違いなく扱えるツールではない。

有償のソフトであれば、Windows のデフラグや FIPS よりも使い勝手が優れたツール( Partition Magic 等)があるのですが、全員が購入するまでも無いように考えています。以下では、ひとまず、(方法 ) の手順を記していきます。(方法 )についてのマニュアルは、今後作成していくことにします。

### 準備するもの

Linux がインストールされる PC 以外に必要なものは、次のとおりです。

- (1) リカバリ CD PC 購入時に付属していたもの
- (2) 起動ディスク作成用の FD(フロッピーディスク) 各自準備してください

# \_\_\_\_手順

### 1.リカバリ CD の起動

- (1) 本体 CD ドライブに Linux2.5 の CD を装着し ます。
- (2) PC を再開起動させます。
- (3) 最初の画面が出たら、直ちに[F12]キーを押下し つづけます。
- (4) <画面1>のような起動メニューが出力される ので、カーソルキー([ ][ ])を操作して、3 の "ATAPI CD-ROM ドライブ"を選択し、[Enter]を押下します。

### 2.領域を設定してからのインストール

- (1) ここからは、PC によって差があると思います が、私のノート PC の例を示していきます。基 本的にやることは同じなので、他の PC でも参 考になると思います。
- (2) リカバリ CD を起動した後、PC によってさま ざまな画面が表示されると思います。FMV で

時の状態に戻す"を選択し、[Enter]キーを押下します。他の PC でも似たような選択が可能であ ると思います。すなわち、"領域を設定"してか ら、Windows をインストールすることを選択し ます。

(3) 続いて現れる < 画面 3 > では、 < 画面 2 > と同 じようなことを聞いてきます。" 領域を任意に設 定して戻す"を選択します。

## < 画面 1 >

### 起動メニュー

- 1.\*フロッピーディスクドライブ
- 2.\*ハードディスクドライブ
- |3 . ATAPI CD-ROM ドライブ|

<BIOS セットアップを起動>

#### < 画面 2 >

ご購入時の状態に戻す(推奨)

領域を設定したあと、ご購入時の状態に戻す 終了する。

[ ]/[ ]キーを押して項目を選びます。実行す る場合は、[Enter]キーを押します。

< 画面 3 >

は、<画面2>のような画面が表示されます。カーソルキーで、"領域を設定したあと、ご購入

### 領域を任意に設定して戻す

領域をご購入時の状態にして戻す

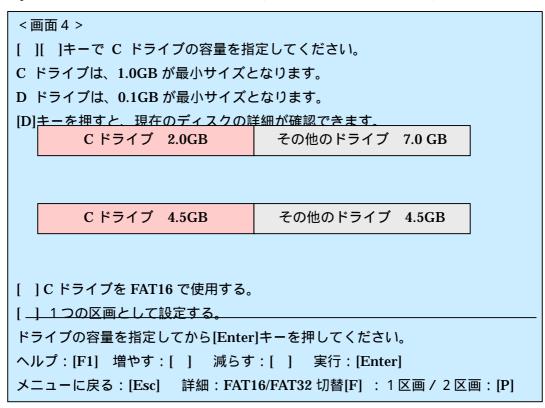
[ ]/[ ]キーを押して項目を選びます。実行す る場合は、[Enter]キーを押します。

## 3.ハードディスクの領域設定

- (1) <画面4>にて、領域の設定を行います。
- (2) 領域のサイズは、各PCでまちまちですが、Linuxを入れる領域になるDドライブは、出来れ

ば3GB以上取っておいてください。

- (3) C ドライブは FAT32、区画は 2 つですから、領域の表示の下にあるチェック欄には、どちらに もチェックは入れません。
- (4) [Enter]押下で、インストールが動き出します。ちっと時間が掛かります。コーヒーブレイク。

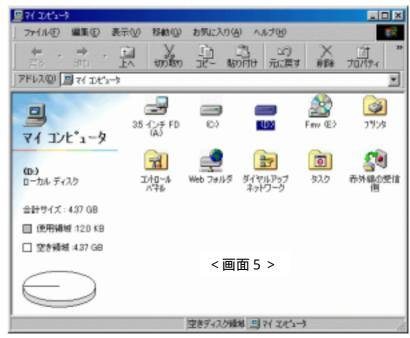


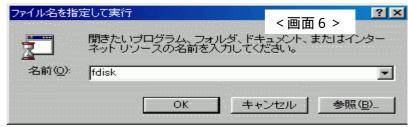
### 4.fdisk 起動

- (1) Windows の再インストールが終わったら、ディスクの状態を確かめましょう。
- (2) D ドライブは先程設定したサイズ になっており、空き領域になって います(<画面5>)。
- (3) ここで、D ドライブを削除することにします。
- (4) [スタート]-[ファイル名を指定して 実行]を選択し、"fdisk"と入力して、 [OK]をクリックします(<画面6</li>>)。

## <u>5.D ドライブの削除</u>

- (1) <画面7>で、"大容量ディスクの サポートを可能としますか " の問 いに対して、"Y"とします。
- (2) <画面8 > が FDISK オプション "、 すなわち、メインメニューです。 まず、"4"を選んで、" 領域情報を表





示"させましょう。

- (3) <画面9>のように、現在の領域 の様子が示されます。"状態" が"A"(アクティブ)になっている、 "C1"の領域が、C ドライブです。 もう一方の"2"の領域が D ドライブです。
- (4) [Esc]キーを押下して、<画面8>のメインメニューに戻ります。
- (5)次に、<画面8>にて、"3"(領域または論理MS-DOSドライブを削除)を選択します。
- (6) <画面10 > が表示されたら、"3"(拡張 MS-DOS 領域を削除内の論理 MS-DOS ドライブを削除)を選択します。
- (7) <画面11>にて、"どのドライブを削除しますか"については"D"、"よろしいですか"については、"Y"を入力し、[Enter]を押下します。
- (8) < 画面 1 2 > に削除が行われたことが表示されたら、[Esc]キーを押下して、< 画面 8 > に戻ります。
- (9) <画面8>にて、"3"(領域または 論理MS-DOSドライブを削除)を、<画面10>にて、"2"(拡張 MS-DOS領域を削除)を選択してい きます。
- (10)<画面13>にて、"どの領域を削除しますか"については"2"、"よろしいですか"については、"Y"を入力し、[Enter]を押下します。
- (11) < 画面 14 > の確認メッセージが 領事されたら、作業は終わりです。
- (12) [Esc] キーを2度押下して、fdiskを終了します。
- <u>6 . ドライブの確認</u>
- (1) fdisk を終了すると、D ドライブは 無くなっています。
- (2) Windows の "マイコンピュータ "を見ると、<画面 1 5 > のように、

### <画面7>

大容量ディスクのサポートを可能としますか(Y/N)...?[Y]

#### < 画面 8 >

次のうちからどれか選んでください。

- 5 . MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成
- 6.アクティブな領域を設定
- 7. 領域または論理 MS-DOS ドライブを削除
- 8.領域情報を表示

どれか選んでください:[4]

#### <画面9>

ハードディスク1

領域 状態 種類 ボリュームラベル M バイト システム 使用

C:1 A PRI DOS

4487 FAT32 51%

2: EXT DOS

4487

49%

FDISK オプションに戻るには Esc キーを押してください

#### <画面10>

MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを削除 次のうちからどれか選んでください。

- 1.基本 MS-DOS 領域を削除
- 2.拡張 MS-DOS 領域を削除
- 3 . 拡張 MS-DOS 領域を削除内の論理 MS-DOS ドライブを 削除
- 4.非 MS-DOS 領域を削除

どれか選んでください:[3]

#### <画面11>

拡張 MS-DOS 領域を削除内の論理 MS-DOS ドライブを削除 Drv ポリュームラベル M パイト システム 使用

D: 4487 FAT32 49%

注意!削除した論理 MS - DOS ドライブのデータはなくなります。

どのドライブを削除しますか?......[D]

よろしいですか?.....[Y]

#### <画面12>

拡張 MS-DOS 領域を削除内の論理 MS-DOS ドライブを削除 D ドライブを削除しました。

拡張 MS-DOS 領域の論理ドライブはすべて削除されました。 FDISK オプションに戻るには Esc キーを押してください 前の D ドライブは無くなり、CD ドライブが、D ドライブになっています。

<画面13>

拡張 MS-DOS 領域を削除

現在のハードディスク1

領域 状態 種類 ボリュームラベル M バイト システム 使用

C:1 A PRI DOS 4487 FAT32 51%

2: EXT DOS 4487 49%

注意!削除した拡張 MS - DOS 領域のデータはなくなります。

どの領域を削除しますか?......[2]

よろしいですか?.....[Y]



< 画面 14 >

拡張 MS-DOS 領域を削除

現在のハードディスク1

領域 状態 種類 ボリュームラベル M バイト システム 使用

1 A Non-Dos

518 5%

C2: A EXT DOS

4487 FAT32 51%

拡張 MS-DOS 領域を削除しました。

FDISK オプションに戻るには Esc キーを押してください

## <u>少しだけ</u>

本マニュアルでは、パーティションについての解説は行っていません。詳しく知りたい人は、次のサイト等を参考にしてください(今の時点では、あまり勉強するべき題材では無いかも知れません)。
http://www.tkcity.net/~nobusan/boot\_hdd.html(Nobusan's Square)

しかしながら、fdisk にて D ドライブを削除した折に出てきた、基本領域・拡張領域・論理領域とについては、簡単に説明しておきます。

パーティションは、いくつでも切れるという訳ではなく、基本領域もしくは拡張領域として切れる数は、

Windows の場合、2つです(一般的には4つ)。2つよりも多くの領域を切る場合、拡張領域(これは1つだけです)の中に論理領域を複数設けることが出来ます。よって、C ドライブと D ドライブがある状態では、右の図のようなイメージで

基本領域

Cドライブ

拡張領域

論理領域

Dドライブ

領域が切られています。上記の D ドライブを消す手順の中で、まず論理領域を消し、その後に拡張領域を消したのは、D ドライブが拡張領域内の論理領域に割り当てられているためです。中身(=論理領域)を消してから、空になった枠(=拡張領域)を消すわけで、この場合、中身ごと枠を消すことは出来ません。

## おわりに

今後、このマニュアルを改良していく予定でいます。お気づきの点があれば、教えて頂けると助かります。

- 以上 -